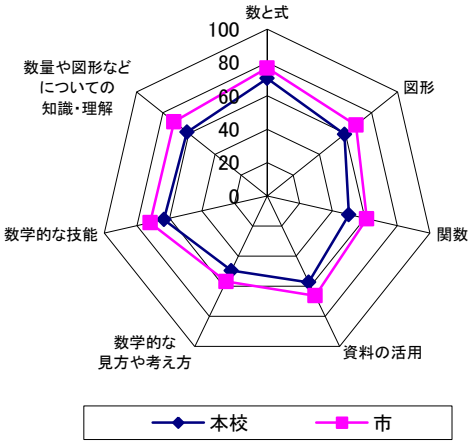


宇都宮市立瑞穂野中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	70.5	76.7	72.6
	図形	59.3	68.1	63.8
	関数	50.2	61.2	54.4
	資料の活用	57.4	66.3	55.4
観点別	数学的な見方や考え方	49.6	56.8	50.8
	数学的な技能	63.4	71.9	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	61.5	71.4	63.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	・宇都宮市よりやや低い正答率である。 ○負の数の累乗の計算と1次式と乗法を分配法則を使った計算では、市の正答率を上回っている。 ●平方根の大小関係や有理化、加法での正答率が低い。また2次方程式での理由説明問題も低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・平方根の性質をしっかりと理解させる必要がある。その上で、定着するまで計算問題を繰り返し行うことが必要だと考えられる。2次方程式の解の吟味については、授業において生徒自身に言葉で説明させていくなど、自分で表現する活動を取り入れていくようにしていきたい。
図形	・宇都宮市より低い正答率である。 ●すべてのねらいで市の正答率を下回っている。特に多角形の内角の和を求める問題が市の平均より16ポイント低くなっている。証明問題や相似な図形の性質を利用した長さを求める問題もできていない。	・多角形の内角の和のような問題では、公式の暗記ではなく、理論的に公式を導けるような考えを定着させていくように心掛けた指導をする必要がある。相似な図形の問題では、辺の比に注目して、比例式を利用して解くことができるように練習をさせたいと考える。
関数	・宇都宮市より低い正答率である。 ●すべてのねらいで市の正答率を下回っている。1次関数の式を求める問題、xの2乗に比例する関数の変化の割合を求める問題での正答率が市の平均より18ポイント低くなっている。	・2乗に比例する関数の問題を基礎から見直し、グラフの形や変域について理解を深める必要がある。その上で、さまざまな事象の例をグラフに表したり、読み取ったりすることを繰り返し行い理解させる必要がある。
資料の活用	・宇都宮市より低い正答率である。 ○度数分布表の理解は市の正答率を上回っている。 ●確率を求める問題の正答率が市の平均より18ポイント低くなっている。	・確率の問題は、樹形図や表を利用して、問題に合わせて使い分けができるようになるまで練習する必要がある。